

# 平成 19 年度 研修部のあゆみ

## I 研究主題

新しい時代を拓き、心豊かにたくましく生きる日本人の育成を目指す小学校教育の推進  
～未来を拓く子どもの育成を目指し、教師の力量や学校の教育力を高める学校経営～

## II 活動方針

新しい時代の要請に応える教育を推進していくために、平成19年度に研究主題を新たに設定する。子ども及び教師の力を高めるとともに、組織としての学校に力がつく学校経営を目指し、研究を推進する。

平成19年度は、翌20年度の東北連小宮城大会の準備の年になる。各学校の課題を踏まえた情報交換や具体的な学校経営をもとにした研究協議を通して、校長一人一人の経営能力を磨き、新しい時代にふさわしい学校経営像を示していくことのできる大会にすべく研究を推進する。

## III 研究体制

- 1 学校経営委員会は、仙台市をA地区とB地区の2地区に分け、それぞれに研究領域を分担して研究課題に取り組んだ。また、宮城県小学校長会研修部とともに、紀要の編集にあたった。
- 2 教育課程委員会は、全国共通調査項目及び仙台市独自の調査項目に基づき、学校経営に資する基礎データを収集するための調査研究に取り組んだ。また、紀要の編集にあたった。
- 3 特別支援教育委員会は、平成20年度東北連小宮城大会（特別分科会）に向け、研究主題を設定し、研究を推進してきた。また、全連小香川大会での研究発表に向けて準備をしてきた。

## IV 研究推進の概要

- 1 学校経営委員会
  - (1) A地区 領域 [学校経営]  
研究主題  
心豊かなたくましい子どもを育むための、共同参画意識を高める学校経営と校長の在り方
  - (2) B地区 領域 [人権教育]  
研究主題  
人として共に生きる態度を育てる人権教育と校長の在り方

## 2 教育課程委員会

- (1) 研究主題 今日的な課題に応じた創意工夫ある学校づくり
- (2) 活動の概要（アンケート調査の実施及び集計分析）
  - ①仙台市立小学校の今日的な課題と、課題に対応した創意工夫ある実践を把握する。
  - ②課題解決に向けた実践の中で、リーダーとして校長が果たしている役割を探る。

## 3 特別支援教育委員会

- (1) 研究主題 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育を推進するための校長の在り方
- (2) 活動の概要（調査研究、実践事例の収集）
  - ①「縦・横の連携・協力」の現状を調査・把握し、課題を明らかにする。
  - ②特別支援教育を各学校でさらに充実していくための方策を探る。
  - ③校長の役割や指導の在り方を明らかにする。

## V 研修部の活動経過

- 1 第1回研修部会 4月17日（火）  
○研究主題・視点、活動方針・計画、組織づくり等
- 2 第2回研修部会 5月7日（月）  
○各委員会ごとの研究体制、研究計画、研究等
- 3 宮城県小学校長会研究協議会栗原大会  
○分科会での発表 11月14日（水）
- 4 第3回研修部会 11月26日（月）  
○栗原大会の反省、宮城大会の計画、各委員会の研究等
- 5 第4回研修部会 1月18日（金）  
○21年度以降の校長会研修部の在り方、各委員会の研究等
- 6 各委員会  
○必要に応じて研究日を設定し、研究を推進した。
- 7 研究紀要の発行 平成20年3月3日（月）
- 8 宮城県校長会研修部との連携（研修部連絡協議会）
  - (1) 第1回 6月8日（金）各地区研究計画等
  - (2) 第2回 11月29日（木）  
栗原大会の反省、宮城大会の計画等
  - (3) 第3回 1月29日（火）校長会研修部の在り方
- 9 教育実習に関する運営協議会  
(研修部事務長 渡部 力)